



発行：日本建築構造技術者協会九州支部
TEL 092-406-2905 / FAX 092-409-2934
Web Site : <https://jscakyushu.jp/>
E-mail : info@jscakyushu.jp

令和6年度 第1回役員会議 in 大分 報告

JSCA九州支部「令和6年度 第1回役員会」が7月26日に、大分県大分市のアートホテル大分 2F アートホールにおいて開催されました。

議題

1. 支部長挨拶（支部長）
2. 令和5年度第3回役員会議事録の確認(事務局)
3. 今年度役員会について 前回役員会以降の事業報告（事務局）
4. 事務局・委員会報告（状況報告・意見他）
5. 地区会報告と事業計画（状況報告・意見他）
6. その他

今林 支部長の挨拶

・九州支部役員の皆さま、日頃より JSCA 九州の活動にご尽力いただき誠にありがとうございます。令和6年度も2か月を過ぎ、本日第1回役員会を大分で開催できることに感謝いたします。特に昨年以來、準備などにご尽力されて来られた大分地区会の首藤さん・神田さん始め皆様にお礼申し上げます。

・今年度は役員改選も無く5月の支部総会は滞りなく終わりました。その中で今年度予算の実行や支部 HP のリニューアルなどに支部会員皆様から前向きな意見を頂くことができました。それらを実現するためにも、支部役員皆さまと一緒に引き続き明るく楽しく積極的に活動したい所存です。

・6月21日の沖縄地区会イベントには学生150名および一般50名の計200名ほどが集まり、坂口裕美さん講演会と学生ディスカッションで大盛況でした。9月27日には九州構造デザイン交流会が福岡大学で予定されており、新たな試みがスタートします。さらに各委員会・部会・地区会で様々な活動が計画中です。総会でも申し上げましたが、正当な参加費を頂いて支部活動の原資とすることも大切です。積極的な活動のためにも健全な支部運営が不可欠ですので、ぜひよろしくお願いいたします。

・来年度は役員改選の年となり現体制での活動は残り10か月余りとなりました。実り多い活動のためにも、本日は大切な役員会ですので、皆様からの忌憚ない意見や悩み、そして活動の報告など有意義な意見交換の場としたいと思います。前向きな会議ですので、活発な議論をどうぞよろしくお願いいたします。

役員会后、大分大学工学部理工学科建築プログラム黒木正幸教授と島津勝准教授より「令和6年能登半島地震等による建物被害に関する現地調査の結果」と題しまして、ご講演いただきました。能登半島地震における建物の被害報告や、建物の倒壊について応答解析結果のご紹介も含め、わかりやすくご説明していただきました。

活発な議論が行われた役員会は勿論のこと、懇親会や二次会でも大変有意義な交流ができました。大分地区会の皆様、誠にありがとうございました。

役員会の詳細は JSCA 九州 HP 上の議事録をご覧ください。 <http://jscakyushu.jp/>



役員会風景



会場ホテル



黒木先生によるご講演



講演会会場風景



懇親会開催挨拶 今林支部長



乾杯のご発声 首藤大分地区幹事

JSCA 九州構造デザイン交流会 2024 報告

令和6年9月27日(金)に「JSCA九州構造デザイン交流会2024」が福岡大学中央図書館1階多目的記念ホールにて開催されました。今年は昨年までの総会後に行われていたデザイン発表会を、1部を学生発表、2部を実務者発表とする2部構成にあらため、学生と実務者が発表を通じて意見交換を行う「構造デザイン交流会」として実施されました。

開会に際し、今林支部長からは、九州支部の構造デザイン交流会を通じて、支部会員のみなならず、JSCA九州会員外や将来構造設計者を目指す学生との交流により、全体のスキルアップを図ることが目指されていると述べられました。また、今回の福岡大学での開催に際して、会場提供に対する感謝と共に、構造デザイン部会メンバーへの労いの言葉、そして協賛していただいた賛助会企業への感謝の意が表明されました。

今年も昨年同様、会場とウェビナーを併用して開催され、学生7名、実務者6名が発表を行いました。学生発表では、各発表者が時代のニーズを捉えた研究内容を披露し、実務者発表では、意匠デザインと構造テクノロジーを融合させた建築物の工夫や技術的な挑戦が紹介され、非常に興味深いプレゼンテーションが展開されました。

発表会後の懇親会は、大学内の学生食堂を貸し切って行われ、発表者や学生、JSCA九州支部会員が熱心に交流を深めました。また、発表を行った学生には、支部長より学生奨励賞が授与され、記念品と共にその努力と今後の活躍が期待されました。

進行役：構造デザイン部会 伊藤淳、高山一斗(司会)、福田光俊、安達亮平

●開会の挨拶(今林支部長)

JSCAの紹介(重松副支部長)

●学生発表 14:40~15:55

①「八角形SC柱と鉄骨梁で構成された柱梁接合部の応力伝達に関する研究」

有田葵(福岡大学)

②「伸びる木」

于思哲(九州大学)

③「鋼構造建築物の部材リユースを前提としたエネルギー吸収要素を備える梁継手の分解設計技術に関する研究」

前田拓海(福岡大学)

④「RC部材の地震被害写真から画像検出されたひび割れ帯を用いたひび割れ面積の自動測定に関する研究」

西村優希(九州大学)

⑤「鋼製キャップと突起状プレス鋼板を併用した木質構造接合法の開幾 -木材の各種破壊モードに対する接合部の耐力評価に関する実験的検討-

伊豆岡大季(福岡大学)

⑥「最適断面を学習させたGCNモデルによる未学習立体鋼構造架構の断面寸法推定」

片山拓人(九州大学)

⑦「鋼・コンクリート接合分離技術による鉄骨梁とデッキ付き床スラブのリユースシステムに関する研究」

花山大樹(福岡大学)

●技術紹介 15:55～16:15

- ①株式会社コンステック
- ②株式会社ピーエルシー
- ③岡部株式会社
- ④日鉄建材株式会社

●休憩 16:15～16:30

●構造デザイン発表会 16:30～18:00

- ①「森の煙突」 山内盛悟（沖縄県建築設計サポートセンター）
- ②「レシプロカル構造を用いた「自然と調和する屋根の建築」」 重松正幸（株式会社構造 FACTORY）
- ③「RC フレームと CLT 耐震壁によるファサードデザイン」 小俣慶太（株式会社山下設計）
- ④「エネルギー吸収支承を採用した置屋根制振」 小林紗矢（株式会社梓設計九州支社）
- ⑤「大池を望む南大東のオオコウモリ」 松元和広（株式会社国建）
- ⑥「フラットボイドスラブによる回遊できる空間」 円酒昂（合同会社円酒構造設計）

●閉会の挨拶（木村副支部長）





開催挨拶 今林 JSCA 九州支部長



司会 高山一斗氏 (構造デザイン部会)

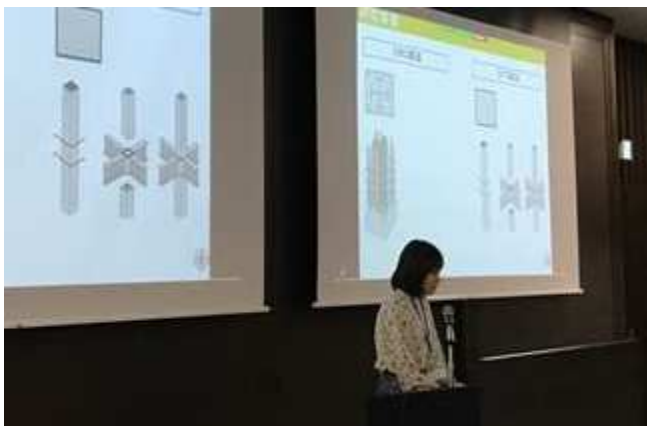


構造デザイン部会 挨拶



木村 JSCA 九州副支部長 挨拶

● 学生発表



学生発表① (福岡大学修士1年)



学生発表② (九州大学修士1年)



学生発表③ (福岡大学 4年)



学生発表④ (九州大学修士1年)



学生発表⑤ (福岡大学 4年)



学生発表⑥ (九州大学修士1年)



学生発表⑦ (福岡大学 4年)



会場からの質疑

●構造デザイン発表会



山内盛悟氏（沖縄県建築設計サポートセンター）



重松正幸氏（構造 FACTORY）



小俣慶太氏（山下設計）



小林紗矢氏（梓設計九州支社）



松元和広氏（国建）



円酒昂氏（合同会社円酒構造設計）



会場からの質疑



超満員の発表会場



賛助会展示ブース①



賛助会展示ブース②



集合写真（前列：学生発表者、中列：実務者発表者、後列：構造デザイン部会）

●懇親会



懇親会① 乾杯



懇親会② 重松正幸 JSCA 九州副支部長挨拶



懇親会③ 学生奨励賞 賞状および記念品授与式



懇親会④ 表彰された学生のみなさん

掲載記事大募集！！

正会員・賛助会員の皆様、この機関誌「JSCA九州メール版」へ何か掲載されませんか？！（広告など）掲載されたいかたは事務局までご一報をください。

広報委員会では新たなメンバーを大々大募集中です！私たちと一緒に、JSCA 九州支部の魅力を発信し、より多くの人に知ってもらいませんか？会員、非会員を問いません。もちろん学生さんでも WELCOME です。興味のある方は、お気軽に広報委員会福田まで。

編集後記

JSCA 役員会 in 大分は盛況のうちに終わることが出来ました。これもひとえに大分地区会の皆様のおかげです。ありがとうございました。
また、学生との交流も兼ねた JSCA 九州構造デザイン交流会 2024 が福岡大学にて行われ 156 名が参加されました。会場選定から進行まで、構造デザイン部会の皆様は様々なご苦勞があったかと思いますが、ご尽力のおかげで交流会は大成功を収めました。参加者全員が有意義な時間を過ごすことができ、交流の場としても素晴らしいものとなりました。本当にありがとうございました。
来年もこのような素晴らしい役員会や構造デザイン交流会が続いていくことを心から願い、微力ながら広報委員会も貢献していきたいと思ひます。

（福田・増田・中島記）